

<クラウドファンディング
実施のお知らせ>
期間：2021年9月1日～
10月31日
プラットフォーム：
READYFOR（レディー
フォー）
https://readyfor.jp/projects/
zenshinza2021/

ご支援の詳細は、上記 URL
にアクセスして、ご覧下さ
い。

なお、インターネットでの
お申し込みが難しい方に、
申込書を用意しております。
【お問い合わせ】前進座

クラウドファンディングって？
今の世に大切な事業だけど、
必要な資金が不足するのを
広く「カンパ」を求めるもの。
みんなで前進座を応援しよ
う！



やっぱり

山田映画がいちばん！

発行 とよなか山田会
発行日 2021年 錦秋号



とよなか山田会ニュースレター-錦秋号

山田洋次生誕地から

今も高橋さんという方が
大切に住んでいただいて
残っているのはとても嬉しく、
「帰ってきた」との思いがします。
(2018年 先行上映会でのお言葉)



2021年7月6日キネマの神様先行上映会、豊中市での
山田洋次監督と上沼恵美子さん

とよなかはほくが生まれたまち、
90年ほど前に鉄道技師の父親が設計し、
当時としてはきっとモダンな建物だったの
でしょう。
その建物は：

監督が映画づくりにも託す思い

「おき」とは？

松竹映画100周年を記念し、原田マハによる同名小説を映画化した『キネマの神様』（8月6日（金）公開）の「豊中市先行上映会舞台挨拶」に豊中市名譽市民である山田洋次監督と、スペシャルゲストとして山田監督の大ファンでもある上沼恵美子さんが登壇し、本作の魅力や映画にまつわる2人の思出のエピソードを対談形式で語った。

●対談より一部ご紹介

〈上沼恵美子〉

「寅さん」はいつも心が温かくなり、それが残ります。

大阪の片隅で50年やってきたのは、ひよっとしたら、「寅さん」の出演依頼があるのではないかと思ってやってきた。出演依頼「待ってたんです。」寅さん50作、泣かしていただきました。息子も寅さんにはまりました。学校の勉強よりもずっといいと思います。今回の「キネマの神様」は、その意味で世代をつなぐことの大切さを改めて教えられます。

〈山田監督〉

寅さんを見て心が温かくなって、しばらくその温かさがもつ、と言ってもらって嬉しい。

観客の胸の中に「おき」というのかな、火の消えた炭がある。僕らの仕事はその炭にもう一度火をつけてポーと赤くする。その火のついた「おき」が残っていて、しばらくポーとしていて家に帰るまで残っている。

〈上沼恵美子〉

監督！できてます！！

（観客より拍手がおこる！）



前進座 「一万石の恋」

劇団前進座は創立90周年記念公演

山田洋次監督の監修・脚本による新作
大阪・日本橋の国立文楽劇場から全国巡演！

みんな観たい！

マスクの下から笑いがこぼれる！

山田監督とは、古典落語を基にした2017年制作の喜劇「裏長屋騒動記」で初顔合わせ。第2弾となる今回は人情噺の「妾馬」を題材とし、小野文隆が再び演出を手掛ける。芝居好きの小藩の殿様・赤井御門守国定（河原崎国太郎）は女嫌いで通っていたが、町中で腹痛を起して用を足した際、手洗い水を差し出した娘・お鶴（有田佳代）に一目ぼれ。思わぬ出世で大騒ぎの長屋連中も、当のお鶴に心に決めた人がいると知ると、とんだ奇策をひねり出す。

●9月29日初日観てきました！

とにかく始めから終わりまで笑い続け、その合間、合間に、ハラハラドキドキ、ホッとする……。

まさに「山田洋次の世界」を堪能できる芝居でした。小さいながら一国一城の主とそれとりまき、一方は典型的な庶民の長屋の衆、その両極の世界がふとした縁でつながり、そして離れていく物語。それでも登場人物は生き生き、そして利己的で暖かい、これが生の人間とその集団なの（？）と思わずにいられません。また、コロナ禍も茶化しながら人間が生み出した「わざわざい」であることを、後になって思い知らされます。いずれにしても生の舞台の楽しさを思いきり堪能。何かと嫌なことが多い昨今。元気をいっぱいいただきました！山田監督、前進座の皆さんに心から感謝。

とよなか山田会 高田昇

前進座（ぜんしんざ）は、1931年5月22日に創立、90周年を迎える歌舞伎劇団。（創設時 幹部ではない下級俳優が結成したことから）尾上菊五郎劇団と並び、市井の庶民・江戸っ子をリアルに描く世話を得意としている。

保守派から、リベラル・社会派やその情情的支持層、文学・芸能関係者ら（松本清張・永六輔・山田洋次、山川静夫など）、あるいは演劇ファンまで、多種多様な層が前進座の員。



▶山田監督と前進座の面々

前進座創立90周年記念公演

劇場を笑いの渦に巻き込んだ山田洋次×前進座「裏長屋騒動記」第二弾！！

生きるか死ぬかで大騒ぎ、笑う門には福来たる！

監修=山田洋次 脚本=山田洋次・朱海青 演出=小野文隆

一万石の恋

うらなげやせうどうき 裏長屋騒動記 愛の仮名手本篇

「とよなか山田会」へ入会しませんか！

世界に誇る監督・脚本家山田洋次さんが生まれた豊中を誇りとし、もっとその作品と監督の素晴らしさをひろめるため平成26（2014）年発足。どなたでも賛同する方に入っています。

問合せ先 住 所 豊中市勝部1-1-7

携帯番号 080-3868-2010

メールアドレス info@toyonakayamadakai.com

ホームページ http://toyonakayamadakai.com

会費は今のところ無料（カンパ、ボランティア歓迎）

「山田監督」「寅さん」情報など、ご質問がありましたらどうぞ！